

中根秀次郎 石川兼次 圓谷洋酒店 小野録郎 青木精米所 谷口英 平町古鍛冶町

平町會議員一同 代表員 柏原眞吾 平藝妓屋組合 平町料理屋組合

磐城立憲新報

發行所 磐城石城縣 印刷所 磐城石城縣

伊東知事の仲裁功を奏し 大瀧發電所問題の解決

風雲漸くおさまる

五ヶ年の永きに渉り幾多の波亂曲折を重ね行惱みの状態に陥りつゝありし平町と電氣會社との係争に係る大瀧發電所問題も赴任以來同問題に深く心痛してゐた伊東知事は愈々最後の仲裁案を提出し、中川土木課長、船橋主事、平町側伏見町長、香野水道課長、鈴木(長)縣議、青一、送水管に故障を生じ送水不能に陥りたる場合は電氣會社側小田炭礦社長萩原申八、馬目雄次郎、栗原欣次郎氏外數名、以上の條件に對し平町側も電氣會社側も異議なく承認し茲に全く解決を見たが要するに電氣會社は第一計畫より取入口を上流二十四尺に變更し又、發電所の位置を五十三尺高位にし最

新聞紙法の改正に就て

出版法及新聞紙法改正に關する警備委員特別委員會で審議の結果大体左の如く意見の一致を見たので答申案を作成の上同委員總會にかけ特別會議までに決定する豫定である

日々に大繁昌の信用厚き中屋洋服店

洋服は新調と既製品とを問で良品廉賣を店是としてゐる常盤線一帯に無数の華客の何時も店頭は來客で溢れ、高を示し常に同業者の羨望の的となつてゐるのは平節なので一層の多忙である町三丁目中屋洋服店である尚ほ同店が日に月に營業を擴大して大量生産の既製品擴張し顧客の増加するのには主であるが新調もお好み商品の優良なるは勿論なる次第で何れも價格の低廉な店主の信用勤勉と薄利多點に於ては決して他の追従主義の信條と店員諸子がをささない最近の營業の向不斷の努力の賜である



社自体に支拂はしむる行政処分としての發賣禁止は之を存置し此に對し救濟方法を設くる事然し之が救濟方法として行

公園の「とさくは」

外來の人が平の料理屋では及ばず凡ての點に於て客に何處と言へば皆まで言さず好感を興ふべく無数の電燈公園の「とさくは」と答るのを點じ且つ料理の材料は新地方の料理屋として一流で申し分なしと云ふ三柏子揃

生徒募集摘要 一、募集人員 二、入學手續 1 高等女學部第一學年 五十名 志願者ハ本校規定在學

生徒募集 本科第一部 (從來ノ高等女) 二年 五十名 本科第二部 (從來ノ師範部) 二年 五十名

第廿二回産婆生徒募集 一、募集人員 若干名 一、修業年限 兩科通ジテ一ヶ年 一、申込期間 本年四月八日迄 平町南町(電話三〇七番)

平産婆學校 校長 清野キヨ

主力を總選舉の非違糾 彈に民政黨の彈案提出

濱口總裁自ら陳頭に立つ

民政黨では政府はあり、其の内容は休銀問題、大勢の如何に拘らず進退無二、特別議會に臨むことは明、白と觀て議會に就ては田中、内閣の信任案を眞向に院、外に於ては既に内閣彈劾の、國民運動を起して氣勢を舉、げ一舉に現内閣の倒壊を圖、る方針で着々其の準備を進、めてゐる。不信案は正副、議長の選舉を終へ御大禮豫、算の通過後直ちに上程し政、府側の提出する新政策諸案、上程の機會を與へず電光石、火的に現内閣を屠らんとす、る事は言を俟たないが、不、信任案の内容に就ては今尚、決定したものがないが、前、議會當時の如き内容の不信、任案では或は無産黨其他の、賛成を得難い惧ありとし、内、相中心の糾彈に出でんとす、る意見もあるが斯ては公黨、の面目上面白からずと主張、するもの多く、大体に於て、前議會の延長と觀て總括的、不信任提出し漸次傾きつゝ

近來洋服の需要が著しく増え、洋服地は重に黒紺紺サ、加し男子計りか婦人も子供で會社から問屋へ卸す場、も輕便と經濟との兩方面より七分乃至八割の口錢で、り見て當然の結果で常節で一ヤール三圓五六十錢から、は裏長根の日雇人夫の子供、四圓位である其が洋服屋の、まで洋服を着ると云ふ流行、手に入ると一躍五圓から六、振りである、其結果ラシャ、圓五十錢となり目的利かな、地の需要が非常に増加して、いお客とらたら舶來品だ位、一ヶ年間に四千萬ヤール全、額にして一億二千萬圓其の、内で約三割の千二百萬ヤ、ルは輸入である、輸入の分、は消費税と輸入税を加算、して原價の三割五分を課せ、られるから輸入品は比較的、高價である、其でも外國製、の内地の毛織會社で製造す、るの内地の毛織會社で製造、す

彈劾案の提出に對抗し 政友極力結束を圖る

閣僚及與黨幹部の申合せ

政友會では來る特別議會にも兎に角内閣彈劾の舉に、於て民政黨が如何なる形式、に出づることは最早疑ふ餘地、に依り政府不信任の意思表、無き程明瞭となつたの目下、示をなすやば今の處不明な、頼りに之が對策に關し謀議、

利益の多い洋服屋 生地と仕立の兩天秤

一般向きには既製品が全盛

デとして普通五圓五十錢、位である、其が一人前三ヤ、ールとして十五圓五十錢、に裏地と仕立賃を三十圓位、に見て結局四十五圓が一、着の値段とされるのである、ところが其仕立賃といふも、のに油斷が出来ない所があ、る、實際背廣一着を仕立、るには糸と裏地代を五圓と、見れば澤山である、其に工、場の需要が非常に増加して、いお客とらたら舶來品だ位、一ヶ年間に四千萬ヤール全、額にして一億二千萬圓其の、内で約三割の千二百萬ヤ、ルは輸入である、輸入の分、は消費税と輸入税を加算、して原價の三割五分を課せ、られるから輸入品は比較的、高價である、其でも外國製、の内地の毛織會社で製造す、るの内地の毛織會社で製造、す

工業補修學院趣意及學則

産業ノ開發ヲ望ムナラバ堅、キ信念ノ上ニ卓越セル人格、ヲ築キ科學的知識ヲ優秀ナ、ル技術ヲ有タナケレバナ、リマセズ、當地方ハ東北唯、ノ工業地トシテ從來工業ニ、從事シテ居ル人トガ少クナ、イノデアリマセズ、工業教、育機關ガ備ハツテ居ナイタ、メニ斯學ヲ研究セントスル、篤學者ヲシテ徒ラニ地ニ朽、チシムルトイフ現況ニ鑑ミ、工業ニ從事セントスルモ、ノニ須要ナル補修教育ヲ、

和洋銅鐵 良品廉賣に勝る商略なし

金物問屋 確實敏捷は久の生命なり

天然痘流行に際し 種痘其の効力に就て 某病院長の談

工業補修學院趣意及學則

一、原籍地 縣郡村字番地
二、現住所 縣郡町字番地
三、戶主トノ續柄 男又ハ弟
四、本人姓名印 年月日生
五、保護者姓名印
六、保證者姓名印
七、成年度也
八、生徒募集ハ四月一日迄
人員ハ一年生五十名二年生若干名

磐城平町 電話九三九番

同盟會を起し互に町當局及併せて教員たらんとする努力を有する者出願期日は三月三十一日限り詳細は同校告キミに多大の同情を寄せられてゐる尙公判開廷の日は單式であるから同室は十地方金融界の爲め祝福するは地方に珍らしき事件とし

工業補修學院趣意及學則

一、倫理、二、英語、三、英語、四、英語、五、英語、六、英語、七、英語、八、英語、九、英語、十、英語

工業補修學院趣意及學則

一、倫理、二、英語、三、英語、四、英語、五、英語、六、英語、七、英語、八、英語、九、英語、十、英語

工業補修學院趣意及學則

一、倫理、二、英語、三、英語、四、英語、五、英語、六、英語、七、英語、八、英語、九、英語、十、英語

工業補修學院趣意及學則

一、倫理、二、英語、三、英語、四、英語、五、英語、六、英語、七、英語、八、英語、九、英語、十、英語

工業補修學院趣意及學則

一、倫理、二、英語、三、英語、四、英語、五、英語、六、英語、七、英語、八、英語、九、英語、十、英語

工業補修學院趣意及學則

一、倫理、二、英語、三、英語、四、英語、五、英語、六、英語、七、英語、八、英語、九、英語、十、英語

政友會では来る特別議事にも兎に角内閣解散の擧に於て民政黨が如何なる形式に出づることは最早疑ふ餘地に依り政府不信任の意思表無き程明瞭となつたの目下與黨幹部の一部では早くも對する問題は一切議會終了茲ニ工業補修學院ヲ起シ一ノニ須要ナル補修教育ヲ

和洋銅鐵 良品廉賣に勝る商略なし 金物問屋 確實敏捷は人の生命なり 久釜屋商店 磐城平町 電話九三三九番

天然痘流行に際し

種痘其の効力に就て 某病院長の談

本郡平窪村に發生した天然痘も全無危険のないもの痘は益々猛威を逞しふし各とは云はれない、皮膚の傷方面に飛火し何れも恟々として敗血症を起したり丹してゐるが之れが豫防方法を起したる事があるとして種痘を勵行し風邪から充分消毒に注意が肝要に罹らぬ様に注意すると其である。不潔なもので擦すに流行地に近寄らぬ事であつたり無暗に掻いたりせぬ種痘の努力に就ては學者は其方は危険でない其れに依り其説を異にするも大種痘其ものが全身症状や生

依る 實業學校令に 平陽女學校の 新陳容 平町に於ける私立女學校の 雙壁として藤田女學校と併 稱されてゐる平陽實科女學 校では過般實業學校令に依 り文部省の認可を得べく申 請中であるが大體新學期ま 由とする處は

質商和田禎宗に 慰藉料壹萬圓請求の訴訟 不倫の夫にあきれた妻から

平郵便局新築 工事に着手 多年の懸案であつた平郵便 局新築問題も昨年来敷地の 事務上一層能率を擧げ得る であらうと

無盡商會の發 展と其の成績 磐城無盡商會の發 展と其の成績

會商盡無城磐 町田植

平町第三小學校

建設敷地の爭奪戰 兩期成同盟會の奮起

平町第三小學校新築問題はの候補地を實地踏査し終つ 愈々今年度より着手する事だが爾來之れが地價及地主に確定し之れが敷地の選定の關係等に就き詳細調査に就て町理事者は非常な苦の歩を進め近く建設委員會並特色は同校は從來縣知事心を拂つてゐるが第一、第を開き協議の筈の處に端二兩校が西方揚土にある間なくも立町に建設を熱望す係上第三校は生徒收容及通の鎌田方面及五、六、七丁學の均衡上東方平坦部に設目町民の組織せる期成同盟門學校に入學する資格を得置する事に大體決定し過般會と南町及月見町々民の全及職業學校規程に基き女子敷名は立町、月見町、方部設せんとする一圖も又期成の激徳を授くるを目的とし

同盟會を起し互に町當局及併せて敷員たらんとする者力有する者出願期日は三の爲に之が養成を爲す等眞町會議員を歴訪し猛烈なるの爲に之が養成を爲す等眞敷地の奪取戦を開始し互にに地方私學の權威である困へ照會すれば一切の書類を飽まで自説を支持して運動に入學資格は高等小學卒業添へて返答す

質商和田禎宗に 慰藉料壹萬圓請求の訴訟 不倫の夫にあきれた妻から

平郵便局新築 工事に着手 多年の懸案であつた平郵便 局新築問題も昨年来敷地の 事務上一層能率を擧げ得る であらうと

無盡商會の發 展と其の成績 磐城無盡商會の發 展と其の成績

會商盡無城磐 町田植

選舉費用の届出と 流石は普通選舉 驚いた文書の發送高

募集人員は本科第一、二部 共各五十名づつ、技藝高等 科五十名、技藝速成科五十 名以上各科を通じ二百名に して卒業年限は速成科一ヶ 年其他は二ヶ年である、同 校學則改正及卒業生の特典 並特色は同校は從來縣知事 認可に依りしを文部大臣 の認可に同校本科卒業生は 縣立高等女學と同様官立專 門學校に入學する資格を得 ると共に同校は實業學校令 及職業學校規程に基き女子 敷名は立町、月見町、方部 設せんとする一圖も又期成 の激徳を授くるを目的とし

亂痴の限りを盡しキミの 諫言などは空吹く風と聞 流し少しも反省せざる 愈々豫定敷地の地主と交渉 勿論益々亂行の募る計に 纏まり一切の手續を完了し 目下同敷地の家屋其他取拂 中であるが場所は同町四丁 日角和泉屋旅館の東隣の角 地方庶民金融機關として信 用厚き本部植田町磐城無盡 商會第十三期末の業績状態 を聞くに一般財界の不況に も拘はらず非常の好成績を 擧げ期末無盡給付契約高二、 二〇六、四七九圓期末満會 無盡完了高三、〇一八、四 九九圓と云ふ數字を示し基

此れが第一の公判は来る 四月九日午前十時から平區 裁判所開廷に決定した地方 郵便局舎は電話部と其の建 物を異にし電話部は二階を も拘はず非常の好成績を 擧げ期末無盡給付契約高二、 二〇六、四七九圓期末満會 無盡完了高三、〇一八、四 九九圓と云ふ數字を示し基

川淵治馬 八五九、九八 堀切善兵衛 八、四四、四 菅野善右衛門 五、七、一 長澤倉吉 八、九七、〇 八田宗吉 六、七、八、五 菅村太事 四、三、九、三 石射文五郎 七、三、三、五 林 平馬 八、〇、九、七 町野武馬 六、九、七、九 中野寅吉 七、〇、七、二

依頼狀、挨拶狀、百七萬 六十七通、推薦狀法定運 動者に依るもの五十一萬 六千二百八十通、獨立運 動に依るもの百二萬五千 百十四通、ポスター十二 二萬六千六百六十九枚、ビ ラ四十二萬六千枚其の他 二十四萬四千九百五枚等 辯論戰、文書戰は何れも從 來の選舉にない多數で之れ

計一千二百一回、宣言書

山下武雄 消防小頭 草野村	大平光儀 消防小頭 草野村	中根慶藏 消防小頭 草野村	渡邊公平 消防小頭 草野村	富岡要 村農會議員 草野村	柏屋菓子店 草野村	長谷川勝昌 草野村	星野利重 馬上一男	中根秀次郎 草野村
◎湯本町	先崎集惠 職業紹介業	山本健治郎 職業紹介業 從業員 降谷由春	赤津兼助 土木建築請負業	馬目石材店	小野精米所 米質清選 小野健之助	若松幸藏 新蕎麥樓	中屋材木店 店主 榑田義美	石川兼次 消防小頭
高橋由兵衛 古物問屋	西丸豊造 諸新聞取次販賣	小野商店 馬具製造業 日用品販賣	本間商店 太物學校用品	日野實藏 質商	立花精米所 高木鐵工場	小泉菊彌 荒物雜貨 天の湯	石川夕七店 古川寫眞店	圓谷洋酒店 電話七〇番
田丸屋酒店 餘酒花井の譽 其他和洋酒雜貨 停車場前	籠倉兵造院 大竹兵造	若松條助	金子重隆 神職	吉田明德 村長	吉田吉兵衛 醬油醸造業	佐藤助太郎 味噌醸造業	岩並政雄 在郷軍八分會長	小野右京 消防副組頭
松本元治郎 材木商 磐崎村藤原	渡邊德之助 質商 植田町	吉田金市 勳八等功七級	大平美喜 酒造醸造業 銘酒太平	湯本町旅館 組合	織内才吉 村會議員	鷹崎貞衛 町會議員	青木精米所 平町古鍛冶町	小野録郎 磐崎村
秋山製材部 材木商 秋山町			菊地時計店 ラヂオ販賣 湯本町	中川材木店 平町白銀町	藤市カマボコ店 平町二丁目	岡部織物店 平町公園裏	三井ハキモノ店 平町二丁目	谷口 御料理
區長 佐藤末松 草野村	堀江工業所 江口忠一 平町	中野甲藏 磐越銀行頭取	小原長英 七七銀行平支行店支配人	渡邊弘男 村會議員 草野村	沼知寫眞館 湯本町	高木勝治 湯本町	渡邊森太郎 職業紹介業	四位精米所
米川繁 職業紹介業	大平菊次郎 牛乳舎 湯本町榮田	産婆生徒募集 看護婦生徒募集 修業年限 産婆看護婦兩科ヲ通シ テ滿一ケ年 願書提出 三月三十一日マデ 平町一丁目	石城産婆學校 看護婦生徒募集 電話三五七番 (寄宿舎ノ便アリ)	生徒募集摘要 一、募集人員 二、入學手續 一高等女學部第二學年五十名志願者ハ本校規定在學 證書ニ適當記入捺印シ 二、第二學年補欠若干名				

平町會議員一同

代表員 柏原眞吾

平藝妓屋組合

平町料理屋組合

磐城立憲新報

每月十五日一日
一、部金二十圓
二、部金十圓
三、部金五圓
發行所 磐城立憲
郵政代用 認印

社自體に支拂はしむる
一、行政處分としての發賣
禁止は之を存置此に對
し救濟方法を設くる事然
事

政裁判によることは迂遠
なる故出版法院若しくは
出版審議會等の如き製度
を設け異議の申立を行は
ざる事

一、募集人員
二、入學手續
一高等女學部第二學年五十名志願者ハ本校規定在學
證書ニ適當記入捺印シ
二、第二學年補欠若干名